

## 平成23年度 教育普及事業の実施状況

分類	内容 講師等	開催日・会場等	参加人数
文学講座 1	「甲州と能・狂言」1～4回 橋本朝生(山梨大学教授) 「藤原道長と紫式部」5～8回 池田尚孝(山梨大学教授)	木曜日 14:00～90分間 年8回 研修室	全8回 826人 平均 103人
文学講座 2	『「太宰治」の芸術と実生活 －〈事実〉と〈真実〉の間で－』 小菅健一(山梨英和大学教授)	土曜日 14:00～90分間 年8回 研修室	全8回 976人 平均 122人
文学講座 3	「山梨の文学」 樋口一葉の手紙 高室有子(学芸員) 飯田蛇笏の旅俳句 井上康明(学芸幹) 川端康成と日本美術 古川順子(主任・教育主事)	木曜日 14:00～70分間 年6回 研修室 6 / 23(木) 8 / 25(木) 10 / 27(木)	全3回 169人 平均 60人 61人 48人
3講座参加者合計			1971人
春 企画展関連事業 「文芸映画のたのしみ」 谷崎潤一郎・泉鏡花・ 川端康成・三島由紀夫 ...	講演会「小沢昭一的 映画の心」 小沢昭一(俳優) 文学講座「映画館が教室だった」 畑三郎(映画史研究家) 「映画に魅せられた作家たち」 中野和子(学芸員) 教師のための学習会 中野和子(学芸員)	5 / 7(土) 講堂 5 / 22(日) 研修室 5 / 22(日) 研修室 6 / 2(木) 研修室	510人 60人 16人
春の企画展関連事業 参加者合計	ギャラリートーク 11:30～15:30～	21回	298人
			884人
夏の特設展	暑中見舞いの書き方 杉野文香 (青少年ペンフレンドクラブアドバイザー) 絵手紙教室 消しゴムスタンプ作り 高橋裕子 (青少年ペンフレンドクラブアドバイザー)	7 / 24(日) 美術館ワークショップ室 8 / 3(木) 美術館ワークショップ室 8 / 4(木) 美術館ワークショップ室 8 / 19(日) 美術館ワークショップ室	51人 148人 50人
	子ども映画会「ムーミン谷の彗星」 子ども映画会「アンデルセン物語」 子ども映画会「おむすびころりん」 「おば捨て山の月」	7 / 16(土) 講堂 7 / 31(日) 講堂 8 / 21(日) 講堂	206人 100人 67人
特設展関連事業 参加者合計	第2回お話の森朗読会 「特設展チャレンジクイズ」展	7 / 23(土) 素心菴 会期中展示 文学館	103人 811人
			1536人

秋 企画展関連事業 「深沢七郎の文学 ギターの調べと ともに」	対談「深沢七郎の文学 そこに秘められたもの」 京谷秀夫(元中央公論社編集者) 聞き手:近藤信行(当館館長)	10/ 1(日) 研修室	145人
	講座「山梨にのこる深沢七郎の足跡」 保坂雅子(当館学芸員)	10/ 1(日) 研修	
	講演会 「奇跡の文学」 中沢新一(思想家・人類学者)	10/16(日) 講堂	400人
	深沢七郎ゆかりの地文学散歩	10/22(土)	41人
	深沢七郎ゆかりの地文学散歩	10/30(日)	41人
秋の企画展関連事業 参加者合計	ギャラリートーク	12回	255人
			882人
名作映画鑑賞会	「砂の器」	4 /24(日) 講堂	485人
	「洲崎パラダイス赤信号」	5 /15(日)	320人
	「細雪」	5 /29(日)	507人
	「古都」	6 / 5(日)	500人
	「彼岸花」	6 /12(日)	500人
	子ども映画会「ムーミン谷の彗星」	7 /16(土)	206人
	子ども映画会「アンデルセン物語」	7 /31(日)	100人
	子ども映画会「おむすびころりん」 「おば捨て山の月」	8 /21(日)	67人
	「名もなく貧しく美しく」	9 /25(日)	306人
	「狐と狸」	10/23(日)	260人
「月山」	11/27(日)	300人	
参加者合計			3551人
朗 読 鑑 賞 会	朗読劇「楯山節考」 劇団芸協	11/ 6(日) 講堂	400人
文学創作 プログラム	エッセイ教室「エッセイ書いて人生まるめる」 木村治美(エッセイスト)	6 /18(土) 研修室	150人
	俳句教室 瀧澤和治(「白露」同人)	2 / 4(土) 研修室	30人
参加者合計			180人
お話の森朗読会	第1回お話の森朗読会	5 /28(土) 素心菴	158人
	第2回お話の森朗読会	7 /23(土) 素心菴	103人
参加者合計			261人
チャレンジ文学館	チャレンジ文学館		
	幼児		2人
	小学生		1080人
	中学生		689人
	高校生		80人
	大人(大学生を含む)		32人
参加者合計			1883人

読 書 会	よしもとばなな「イルカ」	5 / 7(土) 研修室	77人
	太宰治「惜別」「右大臣実朝」	6 / 26(日)	10人
	芥川龍之介「戯作三昧・一塊の砂」	7 / 23(土)	10人
	村上春樹「海辺のカフカ」	8 / 28(日)	11人
	三浦哲郎「忍ぶ川」外	9 / 19(土)	10人
	深沢七郎「笛吹川」	10 / 9(日)	14人
	小川洋子「博士の愛した数式」	11 / 27(日)	15人
	保坂和志「カンパセーション・ピース」	12 / 18(日)	15人
	山本周五郎「赤ひげ診療譚」	1 / 28(土)	15人
	林真理子「最終便に間に合えば」外	2 / 18(土)	10人
参加者合計		117人	
ジュニアインターンシップ (就業体験受け入れ) 博物館学芸員実習	高等学校 3校	7 / 27～7 / 29 3日間	7人
	中学校 1校	8 / 3 1日間	2人
	大 学 3校	7 / 5～7 / 10 6日間	7人
参加者合計		16人	
山梨の文学解説講座 (講師派遣) (一般・学校)	小学校 5校		小中高特 1107人 一 般 1181人 全 回 2288人
	中学校 1校		
	高等学校 6校		
	一 般 23回		
参加者合計			
文 学 教 室	展示解説		小中高特 2022人 一 般 783人 全 回 2805人
	小学校 16校		
	中学校 28校		
	高等学校 8校		
	適応教室 0校		
	大 学 4校		
一 般 29回			
参加者合計			
そ の 他	NHK朗読シアター(共催事業)	9 / 17	403人
	移動文学館パネル展示		7981人
	夏休みプロジェクト		200人
参加者合計		8584人	

## (6) 刊行物の記録

### ① 山梨県立文学館館報 (A4版8頁) 寄稿文及び資料翻刻一覧

84号 2011(平成23)年6月20日発行

【寄稿】 薦 杉本秀太郎(日本芸術院会員・文芸の部)

【資料翻刻】 多田裕計『小説芭蕉』書き入れ本

85号 2011(平成23)年9月10日発行

【寄稿】 深沢七郎の「宿命」 松本徹(山中湖文学の森 三島由紀夫文学館館長)

【資料翻刻】 伊馬春部 井伏鱒二宛書簡

1947年8月10日(封書)／1967年2月22日(封書)

86号 2012(平成24)年3月20日発行

【寄稿】 そうだ、そんなことがある……啄木の歌について 阿毛久芳(都留文科大学教授)

### ② 企画展図録 寄稿一覧

文芸映画のたのしみ 谷崎潤一郎・泉鏡花・川端康成・三島由紀夫… 畑三郎コレクションより

谷崎潤一郎に始まる

川本 三郎

「映画」を見て「本」を読む面白さを知った小学生だった

上水 光男

人生のパン!

小山 明子

「舞台装置は完璧ですか」一撮影所という学び舎の中で……

遠藤 三郎

たかが映画、されど映画 一老人との約束を

畑 三郎

増村保造 一イタリア留学時代の資料

スカルパ・マッシミリアノ

増村保造と日本文学

四方田犬彦

深沢七郎の文学 「檀山節考」ギターの調べとともに

デリケートな分類

中沢 新一

深沢七郎の生家としての甲州柳町本陣家

福岡 哲司

深沢七郎の芸術

川久保正郎

七郎さんについて

京谷 秀夫

書き下し特別作品『盆栽老人とその周辺』余談

大河原英興

深沢七郎 アクマのように素敵な人だった

嵐山光三郎

### ③ 資料と研究 第17輯 平成24年3月31日発行 A5版295頁

平成23年度企画展をめぐって

文芸映画のたのしみ 谷崎潤一郎・泉鏡花・川端康成・三島由紀夫…

体験、ザ・映画

遠藤 三郎

兄・増村保造監督の思い出

語り手 小野れい子・増村 豊夫 聞き手 中野 和子

深沢七郎の文学 「檀山節考」ギターの調べとともに

講演 奇跡の文学

中沢 新一

対談 深沢七郎の文学 そこに秘められたもの

京谷 秀夫・近藤 信行

深沢七郎「檀山節考」草稿について 付〈写真版〉

井上 康明

河野一作「文化十酉句帖」翻刻

高室 有子

八木義徳 中込正子宛書簡翻刻

保坂 雅子

中村星湖作成スクラップブック21～24

三澤麻須美・望月 洋子・小林 幸代

田中家帰宅資料より元治元年樋口八左衛門出府日記

一開国と攘夷に揺れる幕末の生糸貿易事情 府〈翻刻〉

野口 碩

樋口家『仕入帳』第一冊 解説と翻刻

野口 碩

## (7) 閲覧室の運営

### ① 閲覧室の設置

山梨県立文学館設置及び管理条例と施行規則に基づき、県民・文学館来館者への資料・情報の提供及び調査・研究に対する助言を主な事業として、閲覧室の運営を行っている。

### ② 閲覧室の利用

#### ア 利用時間

平日 午前9時～午後7時  
土・日・祝日 午前9時～午後6時  
※休館日は閉室

#### イ 利用手続

書庫内の資料を利用する場合は、「閲覧カード発行申込書」に必要事項を記入し、「閲覧カード」の交付を受ける。閲覧を希望する資料名を「文学資料等閲覧承認申請書」に記入し、受付に申し込む。

#### ウ 利用対象

文学資料などの調査・研究、読書を目的とした利用とする。

### ③ 閲覧室の業務

#### ア 所蔵資料の閲覧・情報提供

閲覧室では文学作品・文学研究書を中心とした図書、逐次刊行物、県内外文芸誌、新聞などを収集し、利用に供している（一部禁閲覧資料あり）。

県内新聞はマイクロフィルム、明治期刊行物はマイクロフィッシュにより提供している。

また、画像情報システムにより、特殊資料の芥川龍之介資料、樋口一葉の「たけくらべ」再掲本原稿（複製）、中村星湖「少年行」原稿、山崎方代草稿など実物の閲覧が困難な資料を、画像で閲覧に供している。

#### イ 文献検索システムによる書誌情報の提供

館所蔵の資料は書誌情報をデータ化し、コンピュータ端末で、来館者が自由に検索できるようになっている。

図書データは通常書誌情報に加え、内容細目もデータ化し、全集・シリーズに収録されている個々の作品名、作者名からの検索も可能である。

逐次刊行物については、一部のものは所載論文名、作品名、執筆者名からの検索もできる。

平成23年1月にシステムの更新を行ない、より高速で、多角的な検索、情報提供、業務の効率

的な処理が可能となった。

#### ウ 調査・相談業務（レファレンス）

閲覧室に寄せられた調査・相談・照会などの依頼に対しては、文献に基づき、司書、学芸員などが対応している。質問は、電話、文書、FAX、電子メールでも受け付けている。

#### エ 複写サービス

文学館では著作権法に基づき、一部の禁複写資料を除き、所蔵資料の複写サービスを行っている。

図書・逐次刊行物に加え、県内新聞のマイクロフィルムや、明治期刊行物のマイクロフィッシュによる複写サービスも行っている。

#### オ 朗読テープの利用

朗読テープは文学関係のものを中心に所蔵し、コーナーを設けて利用に供している。

#### カ 個人研究室・共同研究室の利用

閲覧室内には個人研究室2室、共同研究室2室が併設されており、個人及びグループでの研究・研修などの利用に供している。（有料）

#### キ ビデオブースの利用

文学館の紹介及び文学資料の情報を多角的に提供するため、閲覧室にビデオブースを併設し、文学館作成のビデオを中心に文学関連の映像資料を提供している。

#### ク 資料紹介

所蔵する資料は、ほとんどが閉架であり、直接来館者の目にふれることは少ない。そこで収蔵されている図書・雑誌の紹介を目的として、テーマを決めて閲覧室内で「資料紹介」を行っている。

#### ケ 書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説している（年2回開催）。

#### コ インターネット利用

平成14年度から、当館のホームページを開設し、利用案内、展示、講座・講演会などの情報提供を行っている。また、ジュニアガイドを設けて、小中学生にも県内出身・ゆかりの文学者をわかりやすく紹介している。

館所蔵の資料の状況は蔵書検索のページで閲覧室と同様に確認できる。OPAC自動横断検索システムから、県内外の大学図書館、県内公共図書館、国立国会図書館や類縁機関と当館の所蔵資料を一度に検索することも可能となっている。

## 閲覧室事業実施状況

### ◆ 閲覧室資料紹介

回	タイトル	展示期間
104	映画に魅せられた作家たち	平成23年 4月29日～6月19日
105	文豪からのおくりもの—子どもたちへ—	7月8日～8月31日
106	深沢七郎の世界	9月10日～11月6日
107	芥川賞・直木賞と山梨の作家たち	平成23年12月15日～平成24年4月15日

### ◆ 文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

タイトル	展示期間
飯田蛇笏 (4/26生)	平成23年 4月22日～5月13日
山本周五郎 (6/22生)	6月3日～6月24日
飯田龍太 (7/10生)	7月6日～7月27日
辻邦生 (9/24生)	9月7日～9月28日
山崎方代 (11/1生)	10月28日～11月16日
中村星湖 (2/11生)	平成24年 1月25日～2月15日
芥川龍之介 (3/1生)	2月23日～3月15日

### ◆ 特設展関連資料紹介

タイトル	展示期間
樋口一葉	平成23年 11月19日～12月25日

### ◆ 県立美術館特別展関連資料紹介

タイトル	展示期間
川端康成の世界	平成23年 9月16日～11月6日
浅川伯教・巧兄弟	11月18日～12月25日

### ◆ 書庫見学

実施日	参加者
平成23年6月18日	35名
平成23年11月20日	72名



書庫見学 (平成23年11月20日)



資料紹介「芥川賞・直木賞と山梨の作家たち」